

【参考】

平成28年度 主要経済年誌

年 月	事 項
平成28年4月	4月1日、電力小売り全面自由化開始。
4月	4月14日に熊本県で発生した「平成28年熊本地震」の影響により、九州に工場が集積している自動車製造業では、三重県内の工場においても一部で生産停止・減産の動き。
4月	4月22日から28日までの7日間、主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）の関連行事として、中高生のサミット「2016年ジュニア・サミット in 三重」が桑名市内をメイン会場に開催。
5月	5月26日、27日、志摩市・賢島にあるホテルを会場に、主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）が開催。夕食会など世界の要人へのおもてなしの場面では、県内酒造メーカーの日本酒や松阪牛を始めとする県産食材が振舞われた。
6月	6月23日、英国の欧州連合（EU）離脱の是非を問う国民投票が行われ結果、僅差でEU離脱の賛成票が上回り同国のEU離脱が決定的となった。
8月	8月11日、新名神高速道路と東海環状自動車道の三重県内にある一部区間（四日市JCT～東員IC間）が開通。
8月	8月12日、経営再建中のシャープは台湾に本社を持つ世界最大手のEMS（電子機器受託製造サービス）企業体である鴻海（ホンハイ）グループへの第三者割当増資が実行され、同グループで中核をなす鴻海精密工業の子会社となる。
11月	11月18日、消費税率10%への引き上げを2017年4月から2019年10月に再延期する税制改正関連法が成立。
11月	11月20日、21日、22日、伊勢志摩国立公園指定70周年記念式典および全国エコツーリズム大会が志摩市内をメイン会場に開催。
12月	12月1日、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の政府間委員会において、日本の33の祭りからなる「山・鉾・屋台行事」が無形文化遺産に登録されることが決定。そのうち三重県からは「桑名石取祭の祭車行事」、「鳥出神社の鯨船行事」、「上野天神祭のダンジリ行事」の3件が登録された。
平成29年1月	1月23日、米国第45代大統領に就任したドナルド・トランプ氏が同国が環太平洋経済連携協定（TPP）からの脱退に関する大統領令に署名。同協定の発効が暗礁に乗り上げる事態となった。
2月	2月24日、巨額損失を計上し経営再建中の東芝は四日市市に主力工場があるメモリー半導体事業を4月1日付けで分社化（東芝メモリー株式会社）することを発表。新会社の株式については過半売却を含めて検討し、翌年度中の早期に売却先を決めることになった。
3月	3月14日、本年度に国が創設した「日本農業遺産」制度において、三重県内から「鳥羽・志摩の海女漁業と真珠養殖業」および「急峻な地形と日本有数の多雨が生み出す尾鷲ヒノキ林業」の2件が認定された。

参考資料：株式会社三重銀総研「三重県経済の現状と見通し」、新聞各紙